

# ご あ い さ つ



## 北海道卓球連盟 会長 平 公夫

厳しかった冬も終わり、やっと春らしくなった今日この頃です。本日は全道各地より、この札幌市美香保体育館にお集まりいただき有難うございます。コロナウィルス感染症の影響を受け、第31回大会以降休止せざるを得なかったこの大会も、今年は3年振りに『第34回北海道高齢者卓球大会』として開催できる運びとなりました。

本大会は、本年11月12日から15日に神奈川県横須賀市総合体育館で開催される『第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）』の予選会を兼ねておりますが、2年間の大会中止により、この大会が2年に1度の参加資格のスタート年として参加者全員に権利が与えられています。参加される選手の皆様におかれましては、代表権獲得を目指して健闘されます事を期待いたします。

さて、2021年に日本卓球協会は90周年を迎えました。東京2020オリンピックでは、混合ダブルスで史上初の金メダル獲得等があり世間の注目度が高まっている卓球界です。この流れを更に加速させるため、100周年に向けて、卓球が真の国民的スポーツとなるようにという思いを込めて、日本卓球協会のミッション・ビジョン、そして、これらの実現に向けたアクションプランを策定していますが、その中に「3歳から100歳までするスポーツ」という文言が盛り込まれています。

また、北海道卓球連盟も2022年に90周年を迎えました。丹羽孝希選手・佐藤瞳選手の活躍もありますが、ホープス・カブ・バンビの活躍も見られるようになりました。まさに「3歳から100歳までするスポーツ」として100周年に向けて日本卓球界に貢献できるような選手が出てくることを期待したいと思います。

本大会は、多彩な種目とそれぞれが年代別に分かれており、選手の皆様におかれましては、次なるステップに向けて、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、全道各地の方々との交流を深められ、思い出に残る大会にさせていただきたいと思っております。

結びに、この大会の開催にあたり、北海道社会福祉協議会様を始めご支援ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼を申し上げ、ごあいさつといたします。